



—第2号—

地域・だいがく連携通信

—神戸大学地域連携ニュース—

神戸大学地域連携推進室
〒657-8501
神戸市灘区六甲台町 1-1
TEL:078-803-5029
FAX:078-803-5049
E-mail:ksui-chiiki@office.kobe-u.ac.jp

2007年度 地域連携活動発表会を開催

2007年12月17日、神戸大学瀧川記念学術交流会館大会議室で、地域連携活動発表会が開催されました。この発表会は、2005年から毎年1回、神戸大学の地域連携活動を学内外に発表し、各方面からの批評や意見交換の場を設けることを目的に開かれています。

今年度、地域連携推進室は、従来からの人文学研究科、農学研究科、医学部保健学科の3地域連携センターを中心とした支援に加え、新たな活動の芽を育てていくために、はじめて学内で地域連携事業を公募しました。その結果、医学部附属病院2件、都市安全研究センター1件、人間発達環境学研究科ヒューマン・コミュニティ創成研究センター1件、計4件の事業が採択されました。活動発表会では、これらの事業の中間報告とともに、現代GP採択事業「アートマネジメント教育による都市文化再生」を推進している国際文化学研究科の異文化研究交流センター、アクションリサーチを展開しているヒューマン・コミュニティ創成研究センターの活動についても報告がありました。さらに、学外からのご意見として、小野市立好古館学芸員粕谷修一様、神戸親和女子大学長山根耕平様から講評をいただきました。その後、3センターの代表者と講評者によるパネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッションでは、3センターから、これまでの活動を踏まえた、具体的な課題が提示されました。

会場には、神戸市大学支援室の担当者、また、大学コンソーシアムひょうご神戸からは事務局長も出席されており、活発な意見交換が行われました。

この発表会の様子は、『神戸大学地域連携活動発表会報告書』（2008年3月発行）にまとめられています。報告書ご希望の方は地域連携推進室までお申し出ください。

(研究推進課 研究・地域交流企画係 078-803-5029)



神戸市灘区との連携事業

本年度は、神戸市灘区と次のような地域連携事業を行いました。神戸大学と、六甲台キャンパスのある灘区とは、2004年12月に地域社会の発展と人材育成を目的として包括協定を締結し、多岐にわたる連携事業を進めています。

灘・地域アカデミー

人文学研究科地域連携センターが調査・研究した区内の歴史や文化についての研究成果をまとめた冊子『水道筋周辺地域のむかし』に基づいて、灘・地域アカデミーを行いました。内容は、第1回講義「六甲山と摩耶山のいま昔」（人文学研究科坂江渉講師、2月16日）、第2回講義「水道筋周辺地域の水利事情」（人文学研究科木村修二地域連携センター研究員、2月17日）。第3回はフィールドワーク（3月2日）として、前掲書の第1章「六甲山と摩耶山のいま昔」と第2章「山のめぐみにささえられたくらしー水道筋周辺地域の山利用一」の主な舞台となった摩耶山へ登りました。（主催：灘中央地区まちづくり協議会、共催：神戸大学、灘区役所）



- 第1章 六甲山と摩耶山のいま昔
- 第2章 山のめぐみにささえられたくらしー水道筋周辺地域の山利用一
- 第3章 人と水とのかかわりー水道筋周辺地域の水利事情一
- 第4章 水道筋かいわいの商店街と市場

灘区まちづくりチャレンジ事業助成

神戸市灘区との地域連携協定に基づき、地域の課題の解決及び地域の魅力の向上を目的として実施する活動・事業を助成する「神戸大学・灘区まちづくりチャレンジ事業助成」が募集されました。

本年度は、医学部保健学科の「健康づくり隊の自主活動支援事業」が採択されました。本事業は、灘区が実施する灘・健康ウォークに合わせて、事前に更年期女性、障害者、高齢者向けに歩く健康づくり教室を開催することにより、障害者、高齢者の外出の機会を増やし、地域住民の健康に対する知識を高めることを目的としています。

同時に、この事業を通じて、大学生たちが健康管理の重要性を学ぶと共に、自分たちが生活、通学するまちに関してよりよく知ることが出来るよう活動が行われています。

大学キャンパスツアー

2007年11月27日、神戸市灘区の地域団体を代表する方々で組織されている「灘区民まちづくり会議」が神戸大学の百年記念館で開催され、意見交換の後、大学職員の案内でキャンパスツアーを行いました。地域の方々に大学を知ってもらうため、百年記念館展示ホールでの「山口誓子特別展」、山口誓子記念館を見学の後バスで移動し、経済経営研究所の兼松記念室、経営機械化展示室、本館から六甲台講堂を案内しました。



六甲台講堂

各センターの活動報告

医学部保健学科地域連携センター

医学部保健学科第3回地域連携シンポジウムを開催

2008年1月12日、第3回地域連携シンポジウムが、神戸大学医学部附属病院神緑会館で開催されました。この会は、保健学科が進めている地域連携事業の報告を行うと共に、たくさんの方々の参画と協働を目標に行っています。

今回は各事業に参加している学生・院生による発表が中心で、その後活発な意見交換がありました。



医学部保健学科地域連携センター ホームページ <http://www.edu.kobe-u.ac.jp/fhs-renkei/>

人文学研究科地域連携センター

大学コンソーシアムひょうご神戸 水損史料修復ワークショップ

2007年度、大学コンソーシアムひょうご神戸の社会連携助成事業が公募され、大手前大学・神戸大学・神戸女子大学の3大学で応募した「水害で水損した歴史資料の保全・修復ができるボランティアの養成事業」が採択されました。実施期間は2007年8月1日～2008年2月28日です。この事業では、3大学の授業の中に、水損歴史資料修復ワークショップを取り入れるとともに、神戸市埋蔵文化財センター・兵庫県立考古博物館においても、自治体の文化財担当職員や、博物館ボランティア等社会人に対して同様の講習を実施しました。いずれも当日は、最初に2004年の台風23号被害からの水損史料保全活動について概要を説明。その後、和紙で作成したサンプル史料を実際に水損させ、ペーパータオルなどの吸水紙を使い、濡れた史料を押さえ、吸水乾燥させる方法を体験してもらいました。ワークショップ参加者の関心は非常に高く、熱心に作業に取り組んでいました。



第6回 歴史文化をめぐる地域連携協議会を開催

人文学研究科地域連携センターでは、毎年、1年間の活動を集約・総括するために、兵庫県内の自治体の文化財部局関係者、市民NGO組織の代表者、大学関係者を一堂に会して、歴史遺産の保存・活用について議論する連携協議会を開催しています。第6回目の今年度は、2008年2月3日、神戸大学瀧川記念学術交流会館2階大会議室において「地域遺産の保全・活用のために何が必要なのか—地域連携事業から見てきたもの—」というテーマを掲げて、地域連携センター研究員5人の地域連携事業の活動発表の後、それぞれの報告につき、学外の関係者等から関連コメントをいただきました。

人文学研究科地域連携センター ホームページ <http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/>

自治体等との地域連携協定

神戸大学は、次の自治体と地域連携協定を新たに、また更新して結びました。2004年に神戸市灘区と協定を締結して以来、9自治体等と協定を締結し、様々な地域連携活動を実施しています。

自治体等との地域連携協定

2008年3月24日現在

<新規>

協定先	締結日	協定締結部局	目的
丹波市	2007.8.24	人文学研究科	市域の古文書を主とする歴史文化遺産の調査・研究・保全、歴史文化遺産を活用したまちづくりの推進、人材の育成
神戸市須磨区	2008.1.9	医学部保健学科	健康づくり、まちづくりの支援、子育て支援、障害者支援、高齢者支援

<更新>

協定先	更新日	協定締結部局	目的
小野市	2008.1.25	大学（包括協定）	文化・教育及び学術の分野で援助・協力し、生涯学習等に関する諸課題や文化遺産を活用した地域との連携事業について協同で研究等に参画
朝来市	2008.3.21	大学（包括協定）	文化・教育及び学術の分野で援助・協力し、生涯学習等に関する諸課題や文化遺産を活用した地域との連携事業について協同で研究等に参画

お知らせ

2008年2月に神戸大学地域連携推進室のホームページをリニューアルしました。地域連携推進室の活動の様子、イベント情報をはじめとして、大学の地域連携事業について最新の情報をお知らせします。また、大学内の各地域連携センター等の最新のニュース、イベント情報もリンクしてご覧いただけます。

URL：<http://www.office.kobe-u.ac.jp/crsu-chiiki/>



編集後記

地域・だいがく連携通信第2号をお届けします。年2回発行の予定としていましたが、今年度は青息吐息で何とか間に合いました。今回の活動発表会では、いろいろな課題が出されました。各センターで、共通のものも多く、地域連携活動が進んできた結果、具体的に見えてきたものです。今後、これらをどのように克服していくか、力量が問われます。春はもうすぐそこまで来ています。新たなスタートの時期です。